

研究協力のお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

薬理学教室

記

研究課題名：心不全時に活性が変化する心筋収縮関連分子の検討

研究の目的：ヒト不全心筋では、炎症の亢進が病態増悪の原因の1つです。しかしながら、抗炎症薬を単独で用いても、心不全が必ずしも改善するとは限らず、心不全の病態が複雑な要因から成り立っていることでその予防・治療が難しいことを示しています。我々は最近、心不全時に活性が変化する心筋収縮関連分子を新たに複数見出したため、実際にヒト不全心筋で起こる心収縮能や炎症応答にどの程度寄与しているのかを解明します。本研究では、剖検心臓組織サンプルを使用させていただき、上記各種分子の寄与の程度を明らかにし、新規治療戦略の構築を目指すことを目的としています。

研究の意義：本研究にて、心不全時に活性が変化する心収縮関連分子と、急性/慢性心不全の重篤度との相関性を明らかにできれば、それを標的とした治療戦略を提供する事が可能となり、多くの患者さんにとって治療選択肢が拡大するという点で臨床的意義が大きいと考えられます。

研究の対象：心不全患者さんおよび対象者（心機能に異常の無い症例）のうち、（同意(*)頂いている剖検症例。(*)剖検承諾書における包括同意（研究利用の同意を含む））。

対象者数：本学・本院にて2015年から現在までに包括同意が得られている対象者のうち、30人

研究の方法：本学・病理学教室から、心不全患者および対象者（心機能に異常の無い症例）の剖検心臓組織サンプルを供与していただき、ウエスタンブロットによるタンパク質発現解析、および免疫組織化学的検査を行います。本研究は剖検サンプルに対

してのみ行い、生検（バイオプシー）サンプルに対しては行いません。

ご自身の既存試料・情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、当該研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

本研究にて取得しました試料・情報は、当該研究に関わる者と個人情報の管理者（大阪医科大学薬科大学・病理学教室・教授・廣瀬 善信）が利用いたします。

研究期間：研究実施許可日～2023年10月31日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

対象者の個人情報については、匿名化した上で、取り扱います。～（どこの場所）で～（どんな）状態で保管します。

対象者の方（代諾者の方）より個人情報の開示を求められた場合には、対象者の方（代諾者の方）の同意する方法により情報を開示いたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：大阪医科大学 薬理学教室

利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：

研究責任者：薬理学・助教・横江 俊一

分担研究者：薬理学・教授・朝日 通雄

医学教育センター・嘱託教員・寺崎 文生

薬理学・助教・森原 啓文

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学

薬理学教室

担当：横江 俊一

TEL 072-684-7292(代表) 内線 2649